

<シリーズ 音声訳上の処理 第3回>

1 漢字 どういうときに補足が必要か

これまで、原本通りに、しかも聴いて解るように読むことについて書いてきました。今回は具体的な例として漢字の補足について考えてみたいと思います。補足の仕方いろいろ考えられますが、それについては項を改めてまとめることので、ここではどのような場合に補足が必要かを考えてみたいと思います。

・同音異義語 例 想像と創造

日本語の本は、ほとんどすべて漢字仮名交じり文で書かれています。漢字は、目で読むときには、たとえ正しい読みを知らなくても意味はわかるという、便利な、すぐれ物です。ところが、この漢字には同音異義語がたくさんあり、声に出すとどの言葉か解らなくなることが屡々あります。本を見れば解ることが、声にすると解らなくなる、こんなときには補足が必要です。

注意1 前後の文章から、明らかに正しく伝わるときには補足は不要です。

2 アクセントの違いで区別できることもあります。利用者は心すしも共通語圏の人とは限らないという問題もありますので注意する必要があります。

3 難しい言葉に補足をするではありません。自分が知らなくても辞書（広辞苑、大辞林くらいの大きさの国語辞典）にある言葉は、紛らわしい同音異義語がなければ補足不要です。

・造語 例 育児は育自

漢字には一字一字意味があります。漢字を組みあわせて新しい言葉を作っても目で見れば意味がわかります。これらの言葉を読むときには補足が必要で。

注意 造語かどうかは辞書を引いて確認して下さい。専門的な本では、その分野の辞書にあたってみることも必要です。

- ・音読みと訓読み 例 鏡川(きょうせん)は出身地高知の鏡川(かがみがわ)からとった号です。

文字を見ればきょうせんとかがみがわの関係はすぐに解りますが、読んでしまうと解らなくなります。こんな場合は補足が必要です。

- ・文字そのものが問題になっているとき 例 キントンは金団と書きます。

この文章を補足なしで読んだのでは読んだことになりません。こういう文章は活字の世界では成り立ちますが、声に出して読む文章としては成り立ちません。こんな場合にも補足が心要です。

以上、漢字に補足が心要な場合を並べてみました。これ以外にも補足が必要な例があるかも知れません。次回は、これらの漢字に補足をするときにはどんな方法があるか、どんな注意が心要かを考えてみたいと思います。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆△☆○□☆△□○☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



第9回 (2002.9/5) 録音図書製作グループ音訳研究会の 報告

今回は、デイジー図書はどんな聞き方ができて、どんな作り方ができるのかを福井哲也氏を招いて研究しました。参加者は、20館(25グループ)、80名でした。

「使いたい、作りたい、こだわりのDAISY」のテーマで福井氏は、①なぜDAISYがうまれてきたのか、②DAISYの正体とは、③DAISYの魅力を活かす図書づくり、④録音図書とDAISYの未来は、⑤今こそ利用者も製作担当者も攻めの姿勢で、の5つの柱で90分で講演していただきました。当日の講演内容は、後日、墨字にして『ろくおん通信』でも発表していく予定です。

講演終了後の福井氏を交えての話し合いでデイジーの良さを生かした図書の製作で話がもりあがりました。デイジー図書製作はだんだん関心がたかくなってきています。今後、デイジー製作についていろいろ研究していく場が必要になってきているのを感じています。

次回の研究会は、12月に予定されています近畿視情協の「ボランティア研修会」に参加していただくことになりました。(今号で紹介しています。)

今回は、なごや会の会報（公共図書館で働く視覚障害者の会会報No.16）に掲載されました郷明博さんの原稿を、本人の了解を得て掲載させて頂きました。デジタル録音が少しずつ可能になってきました。MP3で録音しデータを通信で集めて編集していく、今までと違った製作体勢も今後は可能になってきているのではと思います。

週刊誌の音訳版製作について

郷明博

世の中には、雑誌と呼ばれる書籍が溢れています。季刊紙、月刊誌、週刊誌、そしてファッション、旅行、タウン情報、趣味やレジャー、最近ではパソコン関連、等々と、その分野も多岐に渡ります。雑誌とは、言わば、現代社会の生活形態の多様性を映し出す鏡のようなものだと思います。しかも、そのサイクルは年々加速する一方で、流行や世相と呼ばれる旬な情報を、タイミングを逸することなく提供し続けるという使命を、雑誌は担い続けています。個人的には、現代社会の変化のスピードの速さには戸惑う面も多いのですが、少なくとも、まさに今の社会情勢や人々について、トレンドや思考、生活について、親しみやすい言葉と表現で情報提供してくれるのが、雑誌という書籍です。今回、その雑誌の中でも最もサイクルの短い、週刊誌について、しかも、視覚障害者が利用することの多い、週刊誌の音訳版について、少し述べさせて戴きたいと思います。

多くの週刊誌が多くの場所で、公共図書館、或いはボランティア団体等によって音訳され、視覚障害者に届けられています。週刊誌は毎週発行される訳ですから毎週音訳しなければなりません。その継続性の難しさと、その音訳作業の殆どが多くのボランティアの方々の尽力に依って支えられているという現実を考えると、私は視覚障害者の一人として、本当にボランティアの方々に頭の下がる思いです。

しかし、誤解を招くことを覚悟の上で、敢えて苦言を述べさせて戴ければ、週刊誌の音訳版の内容、音訳の質については、残難ながら、満足のいくレベルには達していないように思います。

週刊誌の音訳版の多くは、記事内容の抜粋版が多く、また、スピード感を要求される為、その音訳内容の質的低下は否めない、と感じています。短期間で音訳版を完成させる為には、それもやむをえない事は理解していますし、ボランティアの方々にそこまで要求するのは酷な話だとも思います。ただ…、バラバラと週刊誌のページをめくり、興味のある記事が目にとまるとそれをじっくり読む、という晴眼者の方の動作と同様の感覚が、私にもあるのです。

と同様の感覚が、私にもあるのです。

先に述べましたが、多くの週刊誌が「多くの場所」で音訳されている事に問題があると私は思います。メジャーな週刊誌は、日本中至るところで音訳され、その近隣の視覚障害者に届けられている、という話しをよく耳にします。各々の地域で、各々のボランティアの方々により、各々のやり方で、週刊誌を音訳されている……。単刀直入に言えば、これはボランティアの方々の多大な労力と大切な時間の無駄遣いではないか、と私は思います。

多くの方が読むメジャーな週刊誌を一括して音訳し、それを日本全国の視覚障害者に配送する組織とシステムを構築することが出来たなら、週刊誌の全文音訳と音訳技術の質的向上を、視覚障害者の週刊誌という読書環境の向上を、実現できるのではないかと私は思います。それを実現する為には2つのポイントがあります。全国にある公共図書館の組織的連携化と週刊誌の音訳版提供の有料化です。

例えば、障害者サービスを実施している公共図書館が協調・連動し、一括してメジャー週刊誌の音訳を一つ、或いはいくつかの団体に委託します。そして、その団体から提供される週刊誌の音訳版を各々の抱えるリスナー(視覚障害者)へ配送するシステムを整備します。音訳を委託される団体は、週刊誌の全文音訳とタイムリー性、そして、継続性を要求される事になりますから、無料ボランティアという枠組みの中では実現が難しい為、有料ボランティア、或いはNPOや民間企業に、対価を支払って製作を委託するのです。そして…、ここは私が最も強調したいところですが、その委託料金はリスナー(視覚障害者)から購読料を徴収して賄うべき、だと思うのです。

公共図書館の性格上、購読料を徴収して週刊誌の音訳版をリスナーに提供するというのは難しいかもしれません。図書館の業務は、書籍を無料で一般読者に貸し出す事ですから。しかし、視覚障害者の読書環境の整備と向上の為には公共図書館が大変重要な位置を占めています。各々の地域に点在する、決して多数とはいえない視覚障害者を、読書したいと欲している視覚障害者を、全国的・組織的に把握する事ができるのは、公共図書館だけではないか、と思います。また、介護保険に例えられるように、障害者サービスを行政が全て賄うという時代でもありません。公共図書館には、サービス充実の為の予算確保よりも、こういった局面でのリーダーシップをぜひ発揮して戴きたい、と私は思うのです。

個人的な話ですが、現在私は横浜にある、音訳サービス・J (株)という会社が製作している、朝日新聞社発行の週刊誌アエラの音訳テープ版を購読しています。音訳サービス・J (株)における、テープ版アエラ製作採算の都合上、残念ながら記事抜粋という形ですが、毎週月曜日発行のアエラの音訳版が木曜日には手元に届くという、タイムリー性と、プロの音訳者による良質の音訳内容には大変満足しています。しかし、やはり、アエラの全文音訳版を聞きたい、と私は常々願っています。そして、原本の週刊誌アエラと同価格の購読料を支払っています。晴眼者の方々が、書店等でアエラを買って読むように……。

デジター編集をはじめる (その12・最終回)

9. まとめ

「デジター編集をはじめる」と題して、これからデジター編集をはじめる場合に参考となる事項について11回にわたって紹介してきた。ここではこれまでに紹介した編集関連ソフトウェアの入手方法や、デジター関連や音訳関係で参考になるホームページ等を紹介して「まとめ」としたい。

編集作業、操作等の詳細については後述のマニュアル等を参照ください。

9.1 デジター関連ソフトウェア

これまでに紹介したソフトウェアとその内容等を表9.1にまとめる。

表9.1 デジター関連ソフトウェア

ソフトウェア	内容等	入手方法等 (2002年8月末現在)
LpStudio Plus	<ul style="list-style-type: none"> 見出し+音声+テキスト+図や写真等の画像を同期させたマルチメディア録音図書を作成 デジター図書の委託製作等の営利目的にも使用可能 (デジター編集をはじめる・その10参照) 	発売:株式会社エルザ http://www.elsa.co.jp 価格:1本目は19万円 2本目以降は割引有り
Sigtuna DAR 2.0.17J	<ul style="list-style-type: none"> 見出し+音声だけからなるデジター図書を作成するのに広く用いられている 障害者の情報アクセスを支援するために非営利活動で用い、かつサポートの責任を負わないこと等を条件に無償で配布される (デジター編集をはじめる・その6参照) 	リハ協・DAISY 研究センター http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy ホームページからダウンロードしたソフトウェア申請書に必要事項を記入し、メールに貼付して申請すると、審査後提供される
MyStudio PC	<ul style="list-style-type: none"> Sigtuna DAR2.0.17 同様、見出し+音声だけからなるデジター図書を作成 視覚障害者自身がデジター図書編集できるように音声ガイド(スクリーンリーダ機能搭載)等工夫されている 録音・編集はMP3なので、長編でもコンパクトにできる (デジター編集をはじめる・その11参照) 	リハ協・DAISY 研究センター http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy ソフトウェアの申請方法、提供条件等についてはホームページに近日掲載される予定
LpPlayer	<ul style="list-style-type: none"> DAISY2.0 規格で作成されたデジター図書をパソコンで再生するためのソフトウェア 従来の見出し+音声だけでなく LpStudio Plus 等で作成したマルチメディア録音図書も再生できる (デジター編集をはじめる・その10参照) 	リハ協・DAISY 研究センター http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy 無断で再配布しない、改変しない他の使用許諾に同意することでホームページより無償でダウンロードできる
DI Maker	<ul style="list-style-type: none"> 1枚のCDで複数の録音図書を再生できるようにするための DiscInfo.HTML ファイルを作成するツール (デジター編集をはじめる・その7参照) 	リハ協・DAISY 研究センター http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy 無断で再配布しない、営利目的で利用しない他の使用許諾に同意することでホームページより無償でダウンロードできる
Sigtuna Combine Tool	<ul style="list-style-type: none"> Sigtuna DARで作成した複数の録音図書を一つに結合するためのツール 長編図書の分割編集などにも利用可能 (デジター編集をはじめる・その7参照) 	
Sound Forge6.0 および Noise Reduction 2.0	<ul style="list-style-type: none"> 録音後の音量レベル調整、音声のミックス、サウンドフォーマットの変更等を行う プラグインソフト Noise Reduction を併用することでエアコン等のバックグラウンドノイズを除去できる PCMとMP3には対応するが、ADPCMには対応しない (デジター編集をはじめる・その8および9参照) 	SONIC FOUNDRY(米)社製 輸入・発売:株式会社フックアップ http://www.hookup.co.jp 定価:Sound Forge:5.5万円 Noise Reduction:6万円 発売記念等と称して、セットで半額程度に割引される時期もある

9. 2 デイジー関連ホームページ

表9. 2に筆者がよく利用しているホームページを参考までに紹介する。「Welcome to DAISY」はDAISY研究センターのホームページで、ここから各種編集ソフトなどもダウンロードすることができる。「音訳の部屋」には多分野にわたる読み方辞典なども整備しており、音訳者には必見のホームページ。

表9. 2 デイジー関連ホームページ

ホームページ	内容等
Welcome to DAISY http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy DAISY 研究センター(リハ協情報センター内)	DAISY 関連の最も重要なホームページ 編集関連ソフト等のダウンロードページもある FAQ(Frequently Asked Questions)ページを覗くのも参考になる
ひなぎく http://www.daisy.gr.jp デジタル編集協議会ひなぎく	DAISY 関連の情報が豊富 How to DAISY ページは DAISY 編集の役に立つ
教えて!! なんでんねん 知ってる? http://sx.sakura.ne.jp/~family/yy	DAISY に関して知りたい人は質問し、知っている人が教えてあげる自由な情報交換の場としての掲示板があり、参考になる内容が多い
ないぶネット https://naiiv.gr.jp 全国視覚障害者情報提供施設協会(全視情協)	全国の点字・録音図書の本目録28万冊をオンラインで検索できる日本最大のネット(簡易項目検索ページ) お役立ちホームページへのリンク集は音訳の役に立つ
音訳の部屋 http://www2.tokai.or.jp/hiramatu/onyak/onyindx.htm 平松陽子氏(静岡)製作	音訳する人にとっては必見のホームページ 学校名、地名、鉄道用語辞典他多くの読み方辞典が整備されている

9. 3 デイジー編集マニュアルなど

表9. 3に示すようなマニュアル等があるが、各編集ソフトの画面から検索できる「ヘルプ」メニューを利用すると、もっと詳しい情報を得ることができる。

「図解・初心者のためのデイジー編集の基本操作」は筆者が所属するボランティアグループで使用しているもので、勉強している時間がなく、詳しいことは解らなくともよいから、とりあえず DAISY 図書製作はしたいという人には最適である。

表9. 3 デイジー編集マニュアル等

マニュアル	内容等
シグツナデジタルオーディオレコーダー 研修マニュアル(指導者用) DAISY 研究センター	DAISY 研究センター発表の公式マニュアル Welcome to DAISY のソフトウェアのページより閲覧・プリントできる
デイジーに挑戦 内山武治氏(静岡)製作 http://homepage1.nifty.com/~uchi/DAISY	DAISY 編集に関する解説豊富、パソコンに不慣れな人は「パソコンよもやま話」のページも参考になる 左記のホームページより閲覧・プリントできる
はじめての DAISY DAISY TOKYO 発行 http://homepage2.nifty.com/daisy_t	A4版84ページ、実費:800円 SigtunaDAR をはじめて使う人を対象に書かれている
図解・初心者のためのデイジー編集の基本操作 テープライブラリーにしのみや 発行 電話:0798-34-5554、FAX:0798-34-4124	A4版119ページ(カラー)、頒布価格:2000円 編集画面に示される手順どおりに操作することで、だれでも DAISY 図書を作成できる

(終わり)

12月11日(水)、ボランティア研修会のご案内

開催要項

日時 平成14年12月11日(水曜日)
午前10時半～16時(受付10時より)
場所 日本ライトハウス盲人情報文化センター
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
TEL.06-6441-0015・FAX06-6441-0039
(地下鉄四つ橋線肥後橋駅下車 2号階段あがるすぐ左のビル)
(京阪・地下鉄・淀屋橋駅4号階段上がり西へ7分)

内容

午前の部(9Fホール)

午前10時40分～12時 講演

「司馬遼太郎を語る」

うすむらやうこう

上村洋行氏(司馬遼太郎記念館 館長)

●プロフィール

昭和18年 東大阪市生まれ

同志社大学卒業後 産経新聞社入社

京都支局を振り出しに京都総局長を経て編集局次長

平成8年司馬遼太郎記念財団設立

平成13年司馬遼太郎記念館館長(財団専務理事兼任)

午前12時～昼食 1時

午後1時～ 分科会

<録音分科会>

テーマ これからのデジタル録音作りのいろいろ

現在、カセットデッキに変わってデジタル録音する場合どんなものがあり、それぞれどんな問題があるか、校正やカセットにする場合どうするか、などといった問題を実演を通して認識し、今後のデジタル録音図書作りの研究を行う。

第1部(9階会場) 1時～1時20分

現在のデジタル録音図書製作の現状と問題の報告

盲人情報文化センター 録音製作 清水賢造

第2部 1時30分～3時30分

※会場は3つに分かれます。

- 第1分科会 「プレクストークポータブルレコーダー」を使っての録音図書作り
第2分科会 「DX5」（オタリのデジタル録音機）を使っての録音図書作り
第3分科会 「ノートパソコン」を使っての録音図書作り
※ プレクストークレコーディングソフトウェアを使用

申し込み方法について

別紙申し込み用紙に必要事項を記入の上、近畿視情協事務局までFaxで申し込んでください。

TEL06-6441-0015・FAX06-6441-0039

利用者から制作依頼を受けている原本

『マンション管理士管理業務主任者』マンション管理法令研究会著<商業経営>

※この本は共同制作可能の本です。グループでの制作を募集します。

『イチローのメンタル』豊田 一成著 <スポーツ>

『大東亜戦争の実相』瀬島龍三著< >

『ネットワークビジネス 最初的一年』マーク&レネ・ヤーネル著< >

『福祉住環境コーディネーター3級過去問題集』渡辺光子著<>

『平成三十年 上』堺屋太一 著 <小説>

『平成三十年 下』堺屋太一 著 <小説>

『幸福の原点』大川隆法 著

『障害者の雇用差別 日本から見たスウェーデンの実態』

『生駒山の生き仏 宝山湛海律師』東山緑 著

→引き受けていただいたグループ

『マーフィー珠玉の名言集』マーフィー理論研究会編→盲人情報文化センター

『全解説頻出英文法・語法問題1000』→近畿視情協「英語チーム」

『上手な話し方が面白いほど身につく本』→盲人情報文化センター

『福祉住環境コーディネーター 3級 試験一発合格の決めて』→グループ汐

『みんなの万葉集』上野誠 著 →テープライブラリーにしのみや